



SPIO Newsletter

The Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成20年4月30日(水)

8 第8号

財団法人
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也

当財団（SPIO）が文部科学省より特定公益増進法人として認可を受けて10年目となります。この間、次第に皆様からSPIOの寄付行為の目的が理解されるようになり、賛助員が増加してまいりました。また、2年毎に文部科学省の認可を受けますが、昨年の8月に多くの項目にわたる監査を通過して更新が認められました。SPIOの活動が特定公益増進法人として適当であると認められたということです。現在、公益法人制度改革が進行中で、5年の移行期間を経て平成25年には新しい制度のもとで公益性が審査されることになります。今後も内外から認められる財団となるよう尽力していきたいと考えております。

19年度は6件の国際学会及び27件の学会等への助成、募金事業のお手伝いをいたしました。また、個人への助成として3名の若手外国人留学生への研究助成金を交付しております。現在までに19カ国、延べ83名に助成が行われており（過去の記録はホームページをご覧ください）、この方々への助成がもとで、将来さまざまな国の研究者や研究とつながりができ、学術の上での発展につながることを期待しております。

その他に新しい事業が始まりました。それは若手日本人を対象とした助成で、寄付者の名前を冠した「戸田SPIO奨学金」です。海外の学会における研究発表あるいは海外留学の渡航費を助成する奨学金で、初年度である昨年は7名の応募者全員に各20万円の助成を行いました。今後は競争が激しくなることが予想されます。

各種の助成金については医育機関及び関係団体へ適宜ご案内を送付しておりますが、ホームページ（<http://www.spio.or.jp>）に情報を開示しておりますのでご参照ください。今後もSPIOとしては寄付行為の目的に適うものであれば新しい事業に取り組んでゆく所存です。ご意見ご要望がありましたら事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

平成19年度事業報告

1. 国際学術交流に対する助成
2. 国際学術会議等への助成
3. 留学生（3名）への研究助成
4. 若手日本人（7名）への渡航費助成
5. SPIO Award 受賞者の選出
6. 国際的研究の調査および資料の収集
7. ホームページ更新
8. ニュースレターの作成

SPIOクラブ

第109回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、山下敏夫会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成20年5月15日(木)・16日(金) 10:00～17:00
大阪国際会議場(グランキューブ大阪)10階 10-2会議室

平成19年度研究助成金交付者

若手外国人研究者への助成は大学耳鼻咽喉科学教室にて現在研究を行っている留学生を対象とするもので、19年度は3名の留学生に各30万円の助成を行いました。

1. 崔 勇 (中国) 慶応義塾大学
研究テーマ：音響外傷におけるマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) の発現と臨床的意義について
2. 王 英 (中国) 群馬大学
研究テーマ：聴覚系の抑制性ニューロンの分布と機能解明のための遺伝子改変マウスの開発
3. Wael Abdel Moneim Ahmed (エジプト) 藤田保健衛生大学
研究テーマ：OSAS患者における肥満およびOSAS関連遺伝子に関する研究

国別研究助成金交付者数		
No	国名	人数
1	中国	50
2	エジプト	4
3	ブラジル	4
4	ヴェネズエラ	3
5	イラン	2
6	台湾	2
7	タタール (ロシア)	2
8	ハンガリー	2
9	フィリピン	2
10	ポーランド	2
11	マレーシア	2
12	ウズベキスタン	1
13	韓国	1
14	ドイツ	1
15	ネパール	1
16	パキスタン	1
17	バングラデシュ	1
18	フランス	1
19	ブルガリア	1
	計	83

平成20年度研究助成金・戸田SPIO奨学金の募集

申込み締め切りは、研究助成金は9月30日、戸田SPIO奨学金は8月31日です。交付申請については所定の申請書類をお送りしますので事務局までご連絡ください。あるいは申請書をホームページからダウンロードしてご利用ください。

交付者並びに交付金額は選考委員会にて書類選考の上決定します。また、過去に助成金を受けた人も対象になります。推薦者がSPIOの賛助員でない場合は加入をお願いします。詳しくはホームページをご参照ください。

戸田SPIO奨学金

若手日本人耳鼻咽喉科医師に海外の学会における発表あるいは海外留学時の渡航費の一部として各20万円を助成しました。

1. 川島 慶之 (東京医科歯科大学)
米国立衛生研究所聴覚部門 留学期間2年
2. 寺尾 恭一 (近畿大学医学部)
Paparella Ear Head and Neck Institute, University of Minnesota 留学期間2年
3. 井下 綾子 (順天堂大学医学部)
第31回ARO冬季会議 (米国アリゾナ州フェニックス) 2008年2月17日～2月21日
4. 野田 哲平 (九州国立医療センター、九州大学)
第6回Asian Pacific Symposium on Cochlear Implants, Sydney, Australia 2007年10月31日～11月2日
5. 八木 清香 (金沢大学医学部)
Virginia Commonwealth University 留学期間2年
6. 石田 晃弘 (山形大学医学部)
World Allergy Congress 2007(バンコク) 2007年12月2日～12月6日
7. 宮崎 浩充 (東北大学医学部)
Dept. Anatomy & Physiology, Kansas State University 留学期間2年

SPIO Award

SPIO AwardはAuris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中より優秀原著論文1篇に対し、その著者に賞状と賞金 (5,000ドル) を贈呈します。ただし、筆頭著者は45歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。これは平成13年から始まり今までに5名の受賞者を選出しました。

平成19年度は47篇の中から対象となる7篇を審査した結果、金沢大学の吉崎智一氏が選ばれました。

Tomokazu Yoshizaki, Oncogenic role of Epstein-Barr virus-encoded small RNAs (EBERs) in nasopharyngeal carcinoma, Auris Nasus Larynx Vol. 34, No. 1, 73-78, 2007

20年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からもANL誌に寄せられることを期待しています。

Application for the SPIO Award 2008

The SPIO will select the most outstanding paper among the original papers submitted in the Journal Auris Nasus Larynx, Vol. 35 (No. 1 to No. 4), and will award a certificate and a cash prize (US\$5,000). The first author of the paper should be younger than 45 years of age at the time of manuscript submission. For this annual competition, the SPIO expects excellent contributions from around the world. We encourage you to send your paper to ANL for consideration for the SPIO Award.

賛助費納入のお礼

平成19年度賛助費納入件数 309件
 賛助費を納入いただいた皆様のご理解とご支援に感謝いたします。今後とも引き続きご協力いただけますようお願い申し上げます。

賛助員の募集について

SPIOでは、毎年一口2万円以上の寄付をいただく方を賛助員、一時に40万円以上の寄付をいただく方を特別賛助員としています。なお、納入いただいた賛助金に対しては免税措置が取られます。賛助員の加入につきましては事務局までお問い合わせください。賛助員加入申込書をお送りします。あるいは申込書をホームページからダウンロードしてご利用ください。

加入申込書送付先及び問合せ先

〒113-0033

東京都文京区本郷3-4-5 ハイムお茶の水805
 財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

TEL:03-5684-3707 FAX:03-5684-3708

払込方法

(郵便振替)

口座番号 00150-1-7772753

加入者名 財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

(銀行振込)

銀行名 三菱東京UFJ銀行 麹町支店

口座番号 100145 (普通)

口座名 財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会

特定公益増進法人とは

公共法人、公益法人等その他特別の法律により設立された法人のうち、教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与する法人にのみ与えられる証明です。特定公益増進法人に対する寄付については、個人と法人とで異なりますが、その寄付に対して免税範囲を拡大するという税制上の優遇措置が得られます。(当財団は平成11年8月に特定公益増進法人の認可を受け、以降2年毎の更新認可を文部科学省より受けております。)

税制上の優遇措置

所得税については、寄付金から5千円を差し引いた金額が寄付者の年間所得から控除されます(寄付金控除)。年間所得の30%が限度額です。この場合は確定申告が必要です。当財団が発行する領収書を添付して税務署に申告してください。(所得税法施行令第217条第1項第3号)

法人税については、事業所得の算出の際、一定の限度額の範囲内で、損金として算入することができます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。(法人税法施行令第77条第1項第3号)

SPIO出版

日本の研究を英文の学術書として出版することはSPIOの寄付行為(定款)にも適った事業です。しかしすぐに出来るわけではありません。SPIOでは賛助員の皆様の業績集、宿題報告書、退任記念誌等を自費出版する場合の編集協力から始めたいと考えております。

SPIO出版に関心がお有りの方は事務局へお問い合わせ下さい。申請をいただき、理事会で承認された後、専門の編集コーディネーターが構成、レイアウト、装丁等のお世話をいたします。

平成19年度国際学術会議等への助成

第9回日本・台湾耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会議

感覚器サミット (Eye and Ear Summit)

第25回バラニー学会

バラニー学会サテライトシンポジウム

第12回日韓耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会

第15回世界気管支会議・第15回世界気管食道科学会議

第66回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会

第67回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会

第58回日本気管食道科学会総会・学術講演会

第59回日本気管食道科学会総会・学術講演会

第60回日本気管食道科学会総会・学術講演会

第17回日本耳科学会総会・学術講演会

第18回日本耳科学会総会・学術講演会

第54回日本聴覚医学会総会・学術講演会

第46回日本鼻科学会総会・学術講演会

第47回日本鼻科学会総会・学術講演会

第52回日本音声言語医学会

第54回日本音声言語医学会

第19回日本喉頭科学会

第21回日本喉頭科学会

第17回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会

第108回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第108回日本耳鼻咽喉科学会宿題報告

第110回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第30回ISIAN & 14回IRS

第111回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

第26回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

第69回耳鼻咽喉科臨床学会総会および学術講演会

第37回日本耳鼻咽喉科感染症研究会・第31回日本医用エアロゾル研究会

第18回日本頭頸部外科学会

第20回日本頭頸部外科学会

第20回日本口腔・咽頭科学会

第21回日本口腔・咽頭科学会

第3回日本小児耳鼻咽喉科額会議

平成19年度収支決算報告(要約)

(単位：千円)

収 入 の 部	
1 基本財産運用収入	362
2 賛助費収入	7,130
3 寄附金収入	200,215
4 雑収入	956
5 固定資産売却収入	7,500
当期収入合計(A)	216,164
前期繰越収支差額	8,815
前期繰越収支差額調整額	△ 16
収入合計(B)	224,963

(単位：千円)

支 出 の 部	
1 事業費(助成金)	189,945
2 管理費	12,478
3 固定資産取得支出	9,500
4 特定預金支出	600
5 その他の支出	6
当期支出合計(C)	212,530
当期収支差額(A) - (C)	3,633
次期繰越収支差額(B) - (C)	12,432

※千円未満切捨てのため合計金額は一致しません。

財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会役員等一覧表

役 名	氏 名	担当業務	現 職
理 事 長	野 村 恭 也		東京大学名誉教授
副 理 事 長	市 川 銀 一 郎	財 務	順天堂大学名誉教授
常 務 理 事	八 木 聰 明	庶 務	日本医科大学教授
	小 松 崎 篤	渉 外	東京医科歯科大学名誉教授
	木 田 亮 紀	企画調査出版	日本大学名誉教授
理 事	岡 本 健		中部学院大学学長
	坂 井 真		東海大学名誉教授
	鈴 木 淳 一		帝京大学名誉教授
	神 崎 仁		慶応義塾大学名誉教授
	直 江 登		イーザイ株式会社執行役
監 事	渡 辺 勲		東京医科歯科大学名誉教授
	五 十 嵐 真		宇宙航空研究開発機構招聘研究員
評 議 員	金 原 優		株式会社医学書院社長
	林 重 昭		第一医科株式会社社長
	村 上 泰		京都地域医療学際研究所所長
	加 我 君 孝		東京医療センター臨床研究センター(感覚器センター長)
	小 川 郁		慶応義塾大学教授
	森 山 寛		東京慈恵会医科大学教授
	洲 崎 春 海		昭和大学教授
	小 田 恂		東邦大学名誉教授
	高 山 幹 子		東京女子医科大学名誉教授
	喜 多 村 健		東京医科歯科大学教授
	戸 田 俊 太 郎		株式会社中部総業社長
	飯 野 ゆ き 子		自治医科大学大宮医療センター教授
	岡 本 牧 人		北里大学教授
	菊 地 茂		埼玉医科大学総合医療センター教授
	池 田 稔		日本大学教授
	吉 原 俊 雄		東京女子医科大学教授
	大 森 孝 一		福島県立医科大学教授
顧 問	曾 田 豊 二		前理事長、福岡大学名誉教授